

第13回辻堂市民センター・公民館建設検討委員会 議事概要

開催場所： 辻堂市民センター 第3談話室

日 時： 平成28年11月25日（金曜日）

午後1時30分～5時15分

出席

委員

松本喜夫（辻堂地区自治会長・町内会長連絡協議会）
関岡壽夫（辻堂まちづくり会議）
野中富央（辻堂地区社会福祉協議会）
松原和憲（建設地近隣町内会代表（県公社辻堂西海岸自治会））
金子節子（辻堂公民館評議員会）
池田 潔（辻堂市民センター）
林 宏和（市民自治推進課）
塩原彰子（生涯学習総務課）
村田裕治（生涯学習総務課）
饗庭寛子（総合市民図書館）
守屋文雄（総合市民図書館）
黒澤卓司（高齢者支援課）
斉藤 康（福祉総務課）
鈴木真也（消防総務課）

事務局

大岡誉和（市民自治推進課）
柏崎浩通（市民自治推進課）
鈴木優司（辻堂市民センター）

その他

岡 健志（公共建築課）
塩野充彦（公共建築課）
椎谷楷行（公共建築課）
斎藤啓介（国設計）
中川敏哉（国設計）
小坂貴志（国設計）
鈴木桂介（国設計）

欠席

委員

小川雄二郎（辻堂地区防災協議会）
教育総務課

配布資料

1. 次第
2. 前回の検討事項等の確認...資料
3. 各階平面検討図（20161125）及び平面計画資料の要旨...資料1
4. 平成28年度 辻堂市民センター改築事業・基本設計スケジュール...資料2
5. 辻堂市民センター・公民館建設検討委員会運営要領

注)(地域委員)は地域代表等委員、(市委員)は市関係課委員、(事務局)は検討委員会事務局、(その他)は公共建築課、設計会社等

1 開会

2 議題

(1) 前回の検討事項等の確認について

前回の検討事項等の確認...資料のとおり。

他市民センターのウォシュレットの配置状況 男性・女性用トイレには、六会市民センターと片瀬市民センターに設置(片瀬は一部) 市役所新庁舎には全てに設置予定。

(2) 諸室の配置平面計画について

(その他) 平面計画資料の要旨のとおり

1. 基本構想案の主な課題点に対する改善提案

北側に対する日影の配慮について

(その他) 3階の北側の諸室等を南側へ寄せる検討を行った。階高は、1階と2階は4mを想定。3階は場所によって異なる。詳細な検討により見直しは生じる。

市民センターの開口部の確保について

(その他) 建物構成を東側へ開く「コの字」型とし、採光、通風、排煙を確保し、建物環境を確保する。津波避難用スロープを建物から約2m離し、1階の採光、通風等を確保し易くする。

車輛走行ルートの安全性の確保について

(その他) 4ヶ所の曲がり(カーブ)を1ヶ所に減らし、見通しを良くする。

歩車道の分離について

(その他) 駐車場で車両と徒歩来庁者の動線が交差しないよう見直し。歩行者アプローチは、メインの東側とサブの西側の2ヶ所とし、建物内及び北側の外壁に沿い、東西方向に繋ぐ。西側アプローチは駐車場の北側に配置して歩車道を分離する。

(地域委員) 中学生のテニスコートへの動線と駐車場出入口が交差しないか。

(その他) 基本構想においても、テニスコートへの通路は、敷地の南側に2mの歩道が確保されている。

(事務局) 車と人の見通しへの配慮や、音や光で車の出入りを認識し易くする等、安全対策を十分確保することを高浜中学校及び保護者へ説明し、ご理解いただいている。

歩道を横断する車両出入口数の低減について

(その他) センターの駐車場出入口と消防署の車両出入口の2ヶ所に絞るプランとした。

(1 基本構想案の主な課題点に対する改善提案まとめ)

- ・ 建物は、東に開いたコの字型とする。
- ・ 駐車場、敷地内通路、車両出入口の配置について、本日案をベースに検討を進める。

2. その他の説明事項

平面計画資料の要旨 2.のとおり

スロープと西側テラスについて

(その他) 津波避難用スロープは、幅2m程度、勾配1/12、踊場付で、車両は通行せずに歩行者及び車いすが通行する。テラスは体育館と連携利用でき、準備運動等の空間にしてはどうか。

<津波避難用スロープ>

(地域委員) 折り返し路等により、スケートボード対策になり安全では。車両通行するなら直線路がよい。

(その他) 地域交流スペースを取り囲むようにレイアウトした方が象徴的になる。スケートボード対策について、踊り場をずらす方法もあるが、効果は分からない。

(地域委員) 地域交流スペースからスロープが見えるのは、安心材料になるし周知につながる。

(その他) スロープの手摺壁に防災や辻堂にちなむ掲示をして、辻堂らしさを出していくことも出来る。

(まとめ)

津波避難用スロープは、車いす利用者を考慮した幅員、勾配、踊場とする。

<西側テラスについて>

(その他) 広さは、幅約4.2m、縦約20m。テラスとして認知されていれば、津波等非常時に有効では。

(地域委員) 普段使うなら近隣への音や視線の配慮が必要。日常時の利用方法が大切。

(地域委員) オープンにすると周辺住民への配慮が必要。休憩や準備運動に利用する場合、十分な検討を。

(地域委員) 災害時の外部からの動線を考えると、緑化し、車いすが通れる幅だけあるというのも良い。

(事務局) 日常と災害時の双方利用できると良い。1階に室内の交流スペースがあり、2階に外の交流スペースがあるのは良いアイデアである反面、近隣への配慮も必要であり議論していきたい。

(まとめ)

西側テラスの使い方、仕様については、次回以降の検討とする。

津波避難スペースについて

(その他) 2階、3階に避難スペースを設け、津波避難用階段を配置。屋上は、屋根の構造と設備スペースの確保から避難スペースとはしていない。ホールや体育館の大スパン部分に大人数が乗るのはコストのかかる構造になる。2階と3階の避難スペースでも面積はかなりある。

(市委員) 市民センター避難スペースから屋上等を通じて、消防署側に移動して避難する方法もある。

(地域委員) 設備機器置場に2階西側テラスの一部を使用出来るか。

(その他) 最上階に全部の設備機器を設置した場合、日影の影響の検討から、設備を避難スペースの2階に設置する可能性はある。体育室の空調の有無にもよる。

(まとめ)

津波避難階は市民センター2階及び3階とし、消防出張所屋上も活用する。市民センター屋上は、設備機器置場とする。

地域団体等利用バスの乗り降り一時利用について

(その他) バスの停車場所は頻度の少なさを勘案し、消防署訓練スペースの一時的な利用でどうか。

敷地内設備スペースについて

(その他) 敷地西側一部に設備スペースを設ける。本案では約100㎡。

駐車台数について

(その他) 様々な計画見直しに伴い、駐車台数は公用車駐車スペースを含み25台とする。

駐車場について

(その他) 駐車場の最端部に回転スペースを設ける。

(まとめ)

地域団体等利用バスの一時停車スペース、敷地内設備スペース、駐車台数、駐車場回転スペースは、本日案をベースに検討を進める。

建物内配置について

(その他) 内部動線は、西側にメイン階段とエレベーターを配置。東側のサブ階段は、施設管理上から、避難用の階段となる。部屋の共用等により収納空間を作った方がより利便性が上がる。

<地域交流スペース>

(地域委員) 地域交流スペースの吹抜は良いアイデア。

(地域委員) 図書室と地域交流スペースはロビーから見えるようにして明るい環境が良い。

<相談室>

(地域委員) 相談室は、包括支援センター利用者用か。また、両者は隣接した方がよい。

(市委員) 相談室は、事務室、包括支援、ボランティア各々が使用出来る配置である。

<防災備蓄倉庫>

(地域委員) 防災備蓄倉庫は荷物を搬出入しにくくないか。

(その他) 津波避難階段の設置場所の調整で動線の変更は可能。

<談話室>

(地域委員) 2階の談話室3室、工作室、実習室は同じ64㎡か。広さの強弱は可能か。

(その他) 工作室は66㎡、各談話室、実習室は64㎡で、学校の1教室と同じ大きさ。広さの強弱は可能。

<音楽室>

(その他) 音楽室はサウンドロック(以下、SL)と言う二重扉で要望面積65㎡より狭くなっている。

(地域委員) SLを付けると音楽室は狭くなるか。

(その他) 高い防音レベルの壁を作ると狭くなる。

<実習室>

(地域委員) 砂山市民の家の調理室を効率的に使用し、実習室を倉庫にしてはどうか。

(事務局) 砂山市民の家の実習室の今の使われ方、利用頻度とは別の考え方として、サークルだけでなく地域や様々な催しに使うので公民館の中に実習室は必要と考える。

(市委員) 公民館という施設の中の学習活動の場としての実習室なので、全く無いと言うのは他の公民館とのバランスを考えると望ましいことでは無い。

(地域委員) 砂山市民の家も市の施設である。その中の調理室を公民館施設として運営すれば良いと思う。

<体育室>

(地域委員) 福祉避難所なのでエアコンを入れたい。夏のサークル活動は、エアコンの常時使用が必要。

エアコンがあれば、体育室で賀詞交歓会も出来る。

<ホール>

(その他) 賀詞交歓会で200人が立食する広さの目安として1.2~1.5㎡/人とした場合、ステージは可動とする方が余裕をもって利用できる。

<倉庫>

(その他) 全体的に倉庫が足りない。現面積の中で、入れ替えや調整によりスペース生みだしが必要。

(地域委員) 音楽室付属の倉庫は良い。公民館には大きめの倉庫も必要。

(事務局) 砂山市民の家が近くにあり近隣の会議室が利用可能なので、工作室兼談話室のように機能統合してはどうか。結果として、倉庫スペースができる。

(地域委員) 砂山市民の家には会議室が3つあるので、防災拠点本部室を倉庫に出来るのではないか。

(建物内配置まとめ)

建物内配置及び面積について、次回までに地域委員と市関係課で課題検討する。

敷地全体について

・緑地について

(その他) 必要な緑地面積1,218㎡に対し、現案は1,056㎡。本数による緩和規定では密になり過ぎる懸念があり、極力緑地面積を増やす必要がある。

(地域委員) 駐輪場は緑地の中に設置出来るか。

(その他) 樹木本数の規定もあり、緑化ブロック等は不利になる。緑化ブロックで面積を確保しない方が良い。

(まとめ)

緑化ブロックをできるだけ使わずに、緑地面積確保に努める。

・駐輪場について

(その他) 大型バイクは、幅1m35cm、自転車は、60cm幅で計画。

(事務局) 車両の大きさや安全面から仕分け、歩道との高さの検討が必要。

(その他) 原動機付自転車(以下、原付)の敷地内走行を防ぎ、敷地に入る経路の検討も必要。原付置き場を東側道路に面した前庭や、西側に数台分を確保してはどうか。また、自動二輪車用は、2台分とした。

(地域委員) 原付駐車台数は10~15台程度でどうか。サークル活動が活発になれば利用者は多くなるかも知れない。

(地域委員) 東側玄関前の駐輪場は、白線での区分により、地域団体等利用バスの一時停車も可能となる。

(その他) 前輪固定式も選択可。平面ならバス一時停車スペースもできるが、出入口の問題はある。

(市委員) 緑地面積の確保といった諸条件を満足する中で、90台から減ってもよいか。

(地域委員) 検討した上での台数であればやむを得ない。

(まとめ)

原付を10台程度、自動二輪車を2台、原付の駐輪場や緑地確保のため、総数90台から減らすことも可とする。

・消防出張所

(市委員) 本日の提案に対する消防署の課題点は4点ある。

1. 事務所が車庫の後ろになり、車庫のセキュリティに課題がある。

2. 訓練スペースは、梯子車の訓練用に脚を張り出すと6mで、現案は若干狭い。緑地は、高木があると梯子車の展開の妨げになる。

3. 車庫が若干南側に移動したため、車庫前空地が狭くなり梯子車が入庫しづらい。災害時及びメンテナンス時に車庫前に車両を出すことを踏まえ、車庫前空地は十分に確保したい。

4. 分団倉庫の前は、車庫から出る車両用にクリアランスは確保したい。

消防局内で課題解決を含めて検討を進めたい。

- (その他) 消防車両が出る場所は、交差点の位置から少し離さなければならない。
- (地域委員) 市民センターと消防出張所が複合となり、新たに提案できることはないか。
- (市委員) 訓練スペースを地域団体等利用バスの一時駐車場として使うなど考えられる。
- (市委員) ハード面だけでなく、ソフト面からも連携していきたい。

(まとめ)

配置について、本日案をベースに検討を進める。

・テニスコート

- (地域委員) 公民館祭りで、テニスコートにテント設営は可能か。
- (事務局) 運用については、今後中学校等を含めた協議が必要。
- (地域委員) ブルーシートを敷き、販売やパザール等の利用はどうか。市民センター側に出入口を設けたい。
- (市委員) 運用は、学校、生徒、保護者と様々な意見の調整が必要。また、生徒のトイレ利用や雷雨時等にセンターへ避難出来る安全上の配慮要望があり、出入口は、市民センター西側にも設置したい。なお、テニスコート面積は、現案が最低限必要な広さである。

(まとめ)

テニスコートは現案どおり進め、運用については今後中学校等との協議が必要。

・敷地南側道路について

- (市委員) 南側道路幅は現状の6mとし、既設ガードレールの撤去を想定。
- (地域委員) 東側交差点からセンター駐車場入口までは対面通行とし、それ以降西側は一方通行であれば、テニスコートに行く中学生への安全度は高いのでは。
- (市委員) 警察との協議によるが、道路途中での通行方法の変更は、安全性の面より難しいと考える。
- (地域委員) 敷地南側の歩道と車道の間にはポール(車止め)を設置するか。
- (市委員) 現段階では街路樹を計画しているが、必要であれば検討可能。

(まとめ)

対面通行について、市が警察と協議していく。

その他

- (その他) 消防署は車庫の配置上固定し、市民センター部分を数m南側へ移動した場合、梯子車を使うには訓練スペースが十分でない。建物を極端に小さくすると、市民センター機能低減につながる。
- (市委員) 必要諸室の規模等整理をしたいので、地域団体等代表委員と意見交換したい。建物面積をより大きくすることは、緑地面積の確保等や新たな課題の発生となり難しい。

(諸室の配置平面計画まとめ)

1. 建物形状はコの字型とする。
2. 津波避難用スロープは2階までスロープとし、車椅子利用者を考慮した幅員・勾配・踊場とする。
3. 西側テラスのあり方を次回以降検討する。
4. 津波避難スペースを3階に設置し、消防出張所訓練スペースも活用する。屋上は、経路を確保し設備機器置場とする。

(3) 今後のスケジュールについて

平成28年度 辻堂市民センター改築事業・基本設計スケジュール...資料2のとおり

- (市委員) 近隣住民は、現在の検討状況や、日影を一番不安に思っている。出来る限り早く情報提供したい。
- (地域委員) 地区全体説明会の前に説明出来ると良い。
- (事務局) 日影はまだ説明できる段階ではないが、基本構想からどう検討して日影に配慮してきたのかを説明す

ることが必要。

(その他) 平面的に計画建物自体を少し南に移動することで、基本構想よりも日影による影響を軽減する配慮を
しており、新たな取り組みをしている。

(今後のスケジュールのまとめ)

- ・地域団体等代表委員と市関係課間の意見交換 11月28日(月)13時半
- ・地域の意見交換会 12月3日(土)9:30
- ・近隣の方への進行状況等説明会 1月に開催(予定)
- ・地区全体説明会 1月開催
- ・第17回建設検討委員会 1月20日(金)13:30

3 その他

辻堂市民センター・公民館建設検討委員会運営要領について、改めて伝える。

会議の公開について、基本構想時は公開としていたが、毎回設計図が変わっていき近隣住民に混乱を生じさせるお
おそれがある為、基本設計では非公開とする。公開出来る資料を選別し、議事概要と会議資料を市民センターで閲
覧出来るように整理する。委員が直接資料を求められた場合、市に相談して頂きたい。

閉会